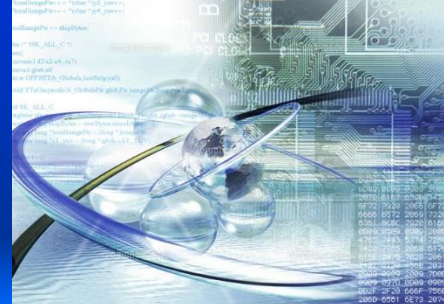


電子帳簿保存法セミナー

本年4月に開催し、ご参加の皆様から大変好評をいただきました「電子帳簿保存法セミナー」。多くのお客様からのご要望にお応えし、今回第2弾を開催する運びとなりました。ぜひ、この機会にご参加いただき、最新情報をご確認ください。



- 日時** : 2016年 11月25日 (金) 14:30 ~ 17:40 (14:00受付開始)
場所 : 名古屋ダイヤビルディング 1号館7階 171会議室 名古屋市中村区名駅3-16-22
主催 : 株式会社シーアイエス
共催 : スーパーストリーム株式会社 / 株式会社NTTデータビジネスブレインズ
定員 : 40名 (※参加費無料)

■ プログラム

14:30 ご挨拶

14:35 規制緩和された電子帳簿保存法。ここが変わった、スキャナ保存の要件とは？

アンテナハウス株式会社 上級文書情報管理士 益田 康夫
 (日本文書情報マネジメント協会(JIIMA) e-文書推進WG リーダー)

いわゆるスマホによる保存が認められた電子帳簿保存法について、9月30日より承認申請が開始されました。これに伴って、要件緩和の内容などについて、さらに注目を集めています。本セッションでは、電子帳簿保存法および施行規則が示す保存要件の内容とその留意すべきポイントを、スキャナ保存制度を中心に解説します。

15:45 休憩

16:00 領収書・請求書等の書類の電子化、総勘定元帳・仕訳帳等の帳簿の電子化への対応方法

株式会社NTTデータビジネスブレインズ
 ビジネスソリューション事業部 パッケージグループ 担当部長 的羽 幸洋

電子帳簿保存法施行規則の改正を基に、取引先などから受け入れる領収証や請求書に代表される各種書類の電子化保存がクローズアップされてきました。本セッションでは、同法が示すところの帳簿および書類における保存要件の解説とともに保存対象となるデータについて、Pandora-AXを用いたデータ保存の実現方法を事例とあわせてご紹介いたします。

16:40 スキャナ保存対応ソリューション「SuperStream-NXのご紹介」

スーパーストリーム株式会社
 営業技術本部 パートナー営業部 営業支援課 鈴木 由将

経理の方の運用を前提にした、証憑管理を行う会計パッケージSuperStream-NXをご紹介します。経理処理と連動した証憑管理を行う事により、原紙による承認の必要が無くなり、決算の早期化についても、大きな期待が出来ます。本セッションでは、経理部門の方における運用をイメージしたご紹介を行います。

17:20 質疑応答・アンケート記入 ※17:40 終了予定



お申し込み

弊社ホームページからお申し込みいただけます。

- ※ お申込多数の場合やお申込内容のご確認のために、弊社の担当者よりご連絡させていただく場合がございます。
- ※ お申し込み確認のメール（受講票）を返信しますので、受講票とお名刺を当日ご持参ください。
- ※ お申込締切は開催日の1週間前までとさせていただきます。
また、それ以前でも定員になり次第締切とさせていただきます。

株式会社シーアイエス ホームページ

<http://www.cisjp.com>

※ セミナータイトルバナーよりお申し込みください。

会場地図

JR、新幹線、名鉄、近鉄「名古屋」

→ 徒歩3分

地下鉄東山線、桜通線「名古屋」

→ 2番・3番より徒歩2分

ユニモール2番出口から徒歩2分

当日は駐車場をご用意しておりませんので
公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ先

CIS 株式会社シーアイエス

〒460-0008 名古屋市中区栄3-11-31 グラスシティ栄 9F

ソリューションサービス営業部 担当：高村・柴山 TEL：052-261-2197

弊社記入欄

部門 :

担当名 :

